

THE PERTH EXPRESS バックナンバー

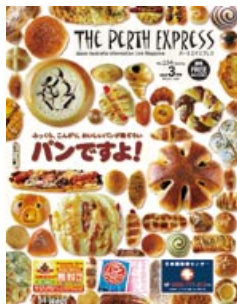
Vol.133 - 144 2009 February - 2010 January

Vol.133 (2009年2月号)



創刊11周年記念号は『パースとの躍進』がテーマ。『パース未来ダイアリー』と題し、雑誌が読者自身の日記になるという新感覚の試みを提案した。最新時事ニュースを伝える『The Japan Express』では、メルボルン近郊で起きた大規模な山火事について報道した。

Vol.134 (3月号)



特集『パンですよ!』ではパースにある、朝食やランチ、おやつなどにぴったりのパンをお店へのマップとともに掲載。横浜で行なわれた2010年南アフリカW杯アジア最終予選、日本対オーストラリアの模様をスポーツ記者のジョナサン・クック氏がレポートした。

Vol.135 (4月号)



『パースの限定モノ大紹介!!』では、パースのお店から本誌読者だけに提供された期間限定サービスを一挙に大公開。また、オーストラリアの生活などで日本と違う常識を大特集。『おしゃれ道』では、パースの夏にピッタリのアイテムを身に付けたお洒落な人々をキャッチ。

Vol.136 (5月号)



『パースで食べ放題!』と題した特集では、食事の他、ユニークなサービスも提供する全7店舗で、本誌読者モデルが焼肉、鍋、寿司、中華の食べ放題を体験レポートした。人気コーナー『徒然パースの生活日誌』では、パースで暮らす日本人の日常を紹介している。

Vol.137 (6月号)



連載100回突破を記念して『フォトジェニックコンテスト』を大特集。読者からの一般応募作品が表紙を飾り、プロカメラマンのクリス・ハザード氏へのインタビューも掲載した。また、第2回パースエクスプレス・フットサル大会をレポート。Vol.143では第3回大会の模様を伝えた。

Vol.138 (7月号)



『ウォーキング&ランニング』と題して、ウォーキングとランニングの効果を詳しく解説し、パース市内のおすすめコースや市民マラソン・イベントをお届けした。『パース・グローリー栄光への道』では、全豪が注目したグロリーとイングランド・プレミアリーグの2チームとの試合結果を報じた。

Vol.139 (8月号)



特集『豪日物の流れを知ろう!』では、輸出入の仕組みをフローチャートで解説。検疫や税関についてもフォーカスした。また、日本のTV撮影でエクスマウスを訪れた、モデルの道端ジェシカさんの撮影現場レポートを掲載。『自分スタイル』では日本で人気のUGGブーツを紹介。

Vol.140 (9月号)



『ナチュラルな力』と題して、女性の関心が高いオーガニック・スキンケアとオーガニック製品や、自然が感じられるパースのおすすめスポットを特集。『パースからお笑い芸人が誕生』では、長年親しまれてきたコンビ名『ジパング上陸作戦』が『チャド・マレーン』に改名したことを発表。

Vol.141 (10月号)



特集『オーストラリアの携帯電話&インターネット』では、ライフスタイルからタイプ別診断をし、それぞれのタイプにおすすめプランを提案。また、不定期連載『あなたの言いたいこと』がスタート。第1回目は、誰もがパース生活で経験のある思いを綴った読者の投稿文を掲載した。

Vol.142 (11月号)



パースで手に入る日本食品とアジア食品を特集。日本でおなじみの食品や、日本食品と賢く使い分けられるアジア食品の数々と、それらを取り扱う食料品店をマップとともに紹介。『こんにちのごうにち』では、豪州史上最悪とも言われた西豪州海域での海洋汚染事故について伝えた。

Vol.143 (12月号)



『カジュアル英語集』では、日本語のニュアンスまでも伝えられる英語のフレーズを特集。また、アカデミー賞外国語映画賞を受賞した映画『おくりびと』主演の本木雅弘さんへの本誌独占インタビューも掲載。『On the Road』では、宇田氏の新著書『閉ざされた国 ヒルマ』を紹介。

Vol.144 (2010年1月号)



新年の幕開けにふさわしく、オーストラリアの象徴『カンガルー』を特集。カンガルーの1日に密着取材し、紹介した。巻頭では豪日両政府の要人からの新年の挨拶文を掲載。『The Tokyo Express』では、電撃ネットワークのオーストラリアツアーが決まったことを伝えた。